

第6次津久見市総合計画に対するパブリックコメント

資料3

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
1	基本構想	地域とのつながりが津久見市最大の強みについて 地域とのつながりが津久見市最大の強みとどうえ、10年後の将来像を決めたテーマの響きは、とてもいいと思う。しかし、地域のつながりの希薄化、自治会運営の大変さなど課題は多い。そんな中、学校の果たす役割は大きいと考える。学校は、地域コミュニティの場、伝統文化継承、地域の活力の元であると思う。学校を核とした、地域づくりをこれからも考えて欲しい。	・学校教育課 ・総務課	津久見市の小中学校では、来年度から教育課程に「つくみ学」を位置づけ、津久見の産業や歴史文化等を学び、ふるさとを愛する児童生徒の育成を目指します。これからも地域とのつながりを大切し、地域とともにある学校づくりを推進します。 また、学校がない地域もありますが、地域の方のご意見も聞きながら、地域コミュニティ活動を推進していきたいと考えています。	無		
2	施策分野6 道路ネットワーク	国道217号平岩松崎バイパスの完成を見据えて、施策①に「都市計画道路高洲中の内線の整備検討」といった文言を記載できないか検討ください。	・まちづくり課	都市計画道路高洲中の内線の整備は、市中心部の活性化や津久見駅南北のアクセス向上において、非常に重要であると認識しております。 一方で、市民から要望のある路線や、災害時の避難路としての機能を担う路線など、他にも重要な道路整備が複数存在しております。そのため、各路線の重要性を総合的に勘案し、優先順位を整理した上で、慎重に検討してまいりたいと考えております。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
3	施策分野9 防災・減災対策	能登の地震を踏まえた対応として、四浦半島や長目半島を抱える市の計画に半島対策や孤立集落対策を盛り込むべきだと思います。また、施策に沿ったKPIを設定するべきだと思います。	・防災危機管理室	ご意見につきましては、半島部を抱える本市にとりまして、貴重な視点でありますので、施策・KPIを追加したいと思います。	有	新設	P85 施策① 3ポツ目 ・東日本大震災や能登半島地震の教訓を踏まえ、大規模災害時に孤立する可能性のある地域への対策として、公設の備蓄倉庫の増設などにより、食料などの分散備蓄をすすめます。 KPI項目:公設備蓄倉庫(離島・半島部) 現状値(2024) 4箇所 目標値(2030) 12箇所
4	施策分野12 地域経営	施策②の内容が地域の取組というよりも市の行政運営の取組になってしまっており、施策としてこの位置に並べるのは不自然な気がします。むしろこの位置には、施策分野29の地域コミュニティを持ってきて、記載されている取組は「経営を支える行財政基盤の整備」などとして、3つの柱とは別枠で整理してはどうでしょうか。	・経営政策課	施策分野12の地域経営については、津久見市が主体となって、津久見市という地域をどう経営していくのかという観点から設定したものです。ご意見のとおり安定的な行財政運営については、全ての施策に関連するものではありますか、行財政の安定的な運営がひいては市民の安心安全につながることから、「安心」の柱の最後に設定をいたしましたので、現行どおりとしたいと思います。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
5	施策分野12 地域経営	住民のニーズを把握する方法は、アンケート、パブリックコメント、意見交流会などが考えられる。また、それ以外にも各団体が代表となつた検討委員会というものがあるようだが、団体代表は、団体の意見をまとめる代表になっているのか？検討委員会の内容が、団体会員に伝わっておらず、いつの間にか決まつていたということが津久見市ではずっと続いているように思う。市民の意見を吸い上げる仕組みを作つて欲しい。	・全課	<p>様々な計画を策定するに当たつては、関係分野の全ての方からご意見を聴取することは困難なため、意見集約の観点から、各分野に精通されている方、各団体の代表の方を委員に選任し、意見をいただいているところです。例えば、総合計画の審議会では、様々な分野の委員の方がおられますが、計画策定に係る有益なご意見をいただいている。団体の代表の方と団体会員の問題とそれが津久見市に限った問題かという点については不明であり、回答を差し控えたいと思いますが、より多くの意見が集まるような取組はしていきたいと考えています。</p> <p>そのほかにも重要な決定をする案件につきましては、市民向けの説明会を開催し、意見を求めることも行っておりますので、引き続き、市民の意見が届くような仕組みづくりに努めていきたいと考えています。</p>	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
6	施策分野12 地域経営	パブリックコメントについては、市役所・図書館などは受付簿に住所氏名を書くようになっている。しかし、ホームページで公開されていれば誰でも自由に見ていいのではないかと思う。名簿に名前を書くことで前の人個人情報も知ることになる。新庁舎ができれば、パブリックコメント募集コーナーを作るなど、たくさんの意見が集まるような仕組みにしてもらいたい。	・全課	ご意見のとおり、素案の閲覧については、HPでも可能のため、今後行うパブリックコメントについては、閲覧に限っては住所の記入を求める形にしていきたいと考えています。 また、広聴の充実という観点から新庁舎にパブリックコメント募集コーナーを作つてはというご意見と認識しておりますが、パブリックコメントの実施自体はそこまで多くありませんので、専用のコーナーを作るのがいいのか、運用によって今よりも市民の方が見やすい方法があるのかは新庁舎に移行後に検討していきたいと思います。 パブリックコメント以外にも、市民の方からご意見を頂けるよう意見箱は、新庁舎及び各施設に設置してまいります。	無		
7	施策分野20 公共空間・住環境	津久見市の自然は、若い人にも人気があると聞いている。つくみん公園は、市外からの人も多く利用しているが、新庁舎や交流施設が整えば、市民もたくさん利用するであろう。以前から、ベイサイド計画があるように聞いている。できるだけ早く、ウッドデッキやベンチなどの整備をして、たくさんの人の憩いの場になるようにして欲しい。	・まちづくり課	つくみん公園からは海や工場を臨むことができ、津久見らしさを感じられる場所であると認識しています。新庁舎建設に合わせて海側の魅力向上を目的とした緑地整備を計画しております。来訪者が集い、憩える場所となるよう、ウッドデッキやベンチ等の設置を含め、今後詳細な設計等を進めていきたいと考えています。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
8	施策分野25 社会教育	公民館として、新しい出発をする旧二中は、ぜひとも市民からの声をたくさん入れ、1日そこで多くの世代の人が過ごせるような交流の場にして欲しい。	・生涯学習課 ・経営政策課	R8.5月以降社会実証実験として1年間程度、管理教室棟2階の教室を市民に貸し出し、アンケートを通じて意見を聴取する。地域ニーズに応じた多様な利用方法について検討します。	無		
9	全体	基本計画の中にAIやDXに対する施策が見当たりません。行政はもとより、民間分野にも取組を推進するうえで必要な施策分野だと思います。	・会計財務課 ・経営政策課	施策分野12 地域経営の施策②の中で、DXの推進やAI技術の活用などにより、業務の効率化を図ることについて記載をしているところですが、行政内部の内容に留まっております。 特にAIについては、本市の取組が遅れている分野ですので、まずは、活用に向けて取組を進めていきたいと考えております。また、10年後の将来を見据えたときに、市民サービス向上にもつながるような取組も不可欠でありますので、そういう視点の記述を追記したいと思います。 また、国や県の民間に対するDX等の支援策に注視するなど、DXの取組が市内に広がるような情報の把握に努めていきたいと考えています。	有	修正	P91 施策② 2ポツ目 【修正前】 DXの推進やAI技術の活用などにより、業務の効率化を図るとともに、電子申請などの拡充等により、市民サービスの向上を目指します。 【修正後】 電子申請の拡充等のDXの推進、AI技術の活用などにより業務効率化を図るとともに、市民の利便性向上につなげていきます。

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
10	全体	市民全員が知り、一緒に作っていく必要があると思う。ぜひ、1ペーパーにまとめて多くに人の目にふれるようにして欲しい。	・経営政策課	ご意見のとおり、総合計画は行政だけの計画ではなく、市民や事業者等、関係団体などと一体的に進めていくものと認識しております。今回の計画では内容が皆様に伝わるよう、長い文章ではなく、箇条書きにするなど工夫をしたところです。よりそれが伝わるよう概要版も作成することとしておりますので、1ペーパーに収まるか分かりませんが、より簡潔な内容でお伝えできるように努めたいと思います。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
11	全体	総合計画は、今後5年間(10年間)で「これをする」といった具体的に目に見えるものにしたほうがいいのではないかでしょうか。市民がワクワク、ドキドキするような計画にしてほしい。	・経営政策課	<p>総合計画の構成について整理をいたしますと、基本構想については、将来像や3つの柱を含めて、これからの中長期について、津久見市全体の取組の大きな方針を示したものとなります。</p> <p>その次に位置付けられている基本計画については、前期・後期の5年間に分かれており、各施策分野の課題やそれに対して、どういった取組を進めていくのか大枠の考え方を示しております。</p> <p>総合計画が市の最上位計画となります。そのため、その下に、それぞれの施策を進めていくための具体的な内容を記載した個別の計画が存在します。</p> <p>そのため、総合計画だけで捉えたときに抽象的に感じられる部分があるかもしれません。より具体的に目に見えるもの、ワクワク、ドキドキするようなものにした方がというご意見につきましては、個別の計画や事業の中で対応していきたいと考えています。</p> <p>また、実際のまちづくりの中で、中心市街地の活性化などをはじめとして、楽しいと感じてもらえるような取組を進めていきたいと考えております。</p>	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
12	全体	<p>総合計画や総合戦略が実行性のある取組となるための本質的な課題は、①少子・高齢化、人口減少の危機意識をどこまで、市民と共有できるか、②変化を恐れず、変える勇気をもってゼロベースでリスクをとったチャレンジができるか、③①②をステークホルダーで一体となった取組(横断的な取組)を進めることができるかと考えています。</p> <p>それらの課題を踏まえて、①みんなで人財を育て将来津久見市に帰つてくる・住む仕組み作り(働く場所と住む場所の流動化)②「子育て・教育・福祉・地域」と「市民のWellBeing向上」と「帰つてくる・住む・結婚出産育てる」が繋がる仕組み作り(地域包括支援拠点作り)などの施策が考えられます。そういう施策も踏まえて議論することが重要では</p>	・経営政策課	<p>ご意見のとおり、計画は策定するだけではなく、どう実行していくかが重要だと認識しております。津久見市の現状を踏まえると、第6次津久見市総合計画の究極の目標でもある市民のWell-Being向上を考えたときには、全てをゼロベースで見直すことはできませんが、これまでやってきたことをただ繰り返すのではなく、見直しも必要だと認識しております。</p> <p>また、それらを進めていくためは、行政だけでなく、市民や事業者、関係団体の方とこれまで以上に意見交換をしながら、課題を共有し、取組を進めていく必要があります。</p> <p>総合計画や総合戦略については性質上、総括的な事業の記述になっている部分がありますが、ご提案いただいているような事業の実施に向けては関係者の方と意見交換をしながらどういった取組ができるのか整理していきたいと考えています。</p>	無		

まち・ひと・しごと創生 第3期津久見市総合戦略に対するパブリックコメント

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
13	基本目標1 「ひと」	教育について、なぜ多くの子供が外の学校に行ってしまうのかを考え、津久見高校に進学しても十分出来ると認識してもらえると六実をするべきだと思います。津久見高校は先日のロボット相撲全国大会で日本一になりました。このような素晴らしい実績をもっとアピールするべきではないでしょうか。他の高校に出て行かなくとも地元の高校で十分と市民に認識してもらえる施策をするべきだと思います。津高産業博のような他ではやっていないことをもっと深堀し、子供や市民が津久見の産業に誇りを持つように導く施策をどんどんするべきだと思います。	・学校教育課	津久見高校が津久見市内の中学生の進路先として選ばれるよう、津久見高校魅力化への支援を行います。津久見高校の活躍は、市報や学校HPでお知らせしアピールします。来年度から小中学校の教育課程に「つくみ学」を位置づけ、津久見の産業や歴史文化等を学び、ふるさとを愛する児童生徒の育成を目指します。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
14	基本目標2 「しごと」	新規就業者に対しての経済的支援をもっと強化すべきだと思います。就職が決まつたら、住むところが必要です。家賃の支援、空き家を利用した住宅改修の資金の援助、津久見で生活するには車が必需品ですので、車の購入支援等、津久見市に住みたいと思ってもらえる優位性、他市と差別化できるような支援を打ち出すべきだと思います	・商工観光・定住推進課	本市へ移住した場合、移住に必要な費用について補助する「移住応援給付事業」、定住を促進するため住宅を新築した場合、あるいは空き家バンクを活用して住宅を購入等した場合の補助及び助成として「新築奨励・市内消費喚起事業、空き家利活用事業」を実施しています。更には、移住・定住を促進し、中小企業等の人手不足の解消に資するための補助として「移住支援事業」、移住・定住、地元就職の促進及び有用な人材確保などを図るため、就労後の奨学金の返還に要する費用の一部を補助する「地方創生人材奨学資金返還支援事業」などを実施しています。また、法人等が社員住宅を整備した場合は、企業立地促進条例に伴う社宅整備助成金等の制度がありますので、広報周知を行っていきたいと考えています。 今後とも、様々な角度から就業に係る支援の検討等を行っていきたいと考えています。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
15	基本目標2 「しごと」	津久見の農林水産のブランド化、活性化において新規参入者に対して他市に無いような積極的な支援をするべきだと思います。	・農林水産課	ブランド化、活性化については、販売・流通等を担う農協や漁協など関係者が一体となった取組を進めることが必要だと考えていますので、これまで以上に関係者のご意見をいただきながら、ブランド化、活性化については取り組んでいきたいと考えています。 また、新規参入者への支援としては、他市の成功事例を参考にしながら、津久見に合った独自の支援策も考えていきたいと思いますし、新規参入者個々の考え方も違うと思いますので、その方向性をサポートできるよう、寄り添った支援を考えていくたいと思います。	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
16	基本目標2 「しごと」	<p>これまで10年以上「地域おこし協力隊」で多くの人が津久見に来ましたが、実際定住したのはわずか3名です。これは何が足りなかつたのでしょうか？検証してみるべきではないでしょうか。</p> <p>都会に地域の産業をアピールする活動は近年よくされていると思います。それとともにUIJターンのPRをもっと積極的にするべきだと思います</p>	・商工観光・定住 推進課	<p>令和6年度まで活動内容を地域おこし、地域資源の発掘・振興への支援、地域行事等の支援、住民の生活の支援、農林水産業への支援、交流事業への支援の活動で募集していましたが、令和7年度から就農を目的とした支援、離島振興活性化を目的とした支援の活動というより具體化した募集を、現在、行っています。地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい本市において、地域力の維持・強化を図るため、地域外の人材を積極的に誘致するとともに、その定住・定着を図ることを目的としていますので、現在、定住していただいている地域おこし協力隊卒業者の方の意見をいただきながら、制度設計等を行い取組を進めていきたいと考えています。</p>	無		

No	該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
17	基本目標2 「しごと」	人口の半分程度が65歳以上になっている現在において、そのような人達が地域で活躍できるような環境整備が必要だと思います。その一つが世代を超えた交流が出来ているかということです。親、子、孫といった世代間のコミュニケーションが取れる環境整備が必要だと思います。それが郷土愛、すなわち「津久見愛」を育むことにつながるのではないかと思います。この参考になる事例として、福岡県うきは市のうきはの宝(株)の事業活動を研究してみてはいかがでしょうか。うきはの宝(株)は、平均年齢75歳以上の高齢者が生き生きと働いている会社で、全国からも注目されている会社です。	・生涯学習課 ・長寿支援課 ・防災危機管理室	三世代の交流については、子どもたちが世代を超えて交流を行うことは、コミュニケーション能力を育てる上で、必要な活動と考えています。また、伝統文化・伝統芸能の担い手の高齢化や後継者不足が課題となっていることなどから、三世代交流は地域の歴史や価値観を未来につなげるために必要不可欠な取組と認識しております。そういう環境をどう整えていくかという点につきまして、事例を提案いただいたところですが、いただいた提案も含め、様々な事例を参考にしながら、津久見市にあった取組を進めていければと考えています。	無		
18	全体	推進状況をPDCAサイクルに基づく検証を行うとしているが、その検証が十分に分かるように十分な説明をしてもらいたい。	・経営政策課	総合計画、総合戦略については、毎年、策定に関わっていただいた委員の方々に対して、KPIの達成状況、施策分野における課題、それに対する取組などを説明し、それに対する意見を頂く意見交換会を実施しております。その内容についてHP等で分かりやすく公表していきたいと考えています。	無		